

大学生に就活とワークルールを伝授

～室蘭工業大学で本年2回目の寄付講座を開催～

連合北海道は7月12日、室蘭工業大学で本年2回目となる寄付講座を実施した。講座は清末愛砂准教授の授業を受けている生徒が対象で98名の学生が出席した。

講師は今回も斉藤勉副事務局長が務め、最初に雇用契約の概念をマジックやクイズ形式でわかりやすく解説。ブラックバイトなど学生の身近な問題や実際に関わったブラック企業を実名で紹介するなど、具体的な事例を出しながら参加者の気持ちを引きつけていた。次に、



肉まんがハンバーガーに変身するマジックが大受け

3年生が多いこともあって「就活の極意」について伝授。特にネットで盛況の就活ビジネスに翻弄、惑わされずに「自分を見失わないで！」と呼びかけていた。

途中で、携帯電話を通して航空連合から連合本部に派遣されている杉直樹部長や某大手商社の人事採用担当者と実況トークを繰り広げて、就活にまつわる逸話などを紹介、学生からの質問を受けるなど学生の大きな関心を呼んでいた。



職場の権利ネットの緑川氏

後半には、NPO法人職場の権利ネットの緑川氏から今秋

室蘭市で実施されるワークルール検定の紹介、北海道労働委員会の労働者委員を務める馬場氏から「職場でのトラブル解決方法」と北海道労働委員会の紹介、地元連合胆振地協の浦野事務局長から実際にトラブルが起きたときの相談についてPRを行った。最後まで学生は飽きることなく、興味深く講師の話に傾聴していた。



北海道労働委員会の馬場労働者委員



浦野胆振地協事務局長

